

平成26年度 広島大学 2次試験前期日程(数学問題)120分  
 教育(第一類・第二類(技術・情報系)・第四類(人間生活系))・  
 経済(昼)・歯(口腔健康科学(口腔保健))

問題 1 2 3 4 5

1 座標平面上で、原点  $O$  を中心とする半径1の円を  $C$  とする。  $C$  の外部にある点  $P(a, b)$  から  $C$  にひいた2本の接線と  $C$  との接点を  $H, H'$  とする。  $\angle OPH = \theta$  とするとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $PH$  の長さ、および  $\sin \theta$  を  $a, b$  を用いて表せ。
- (2)  $HH' = OP$  となるような点  $P$  の軌跡を求めよ。

2  $a_1, a_2, a_3$  は定数で、  $a_1 > 0$  とする。放物線  $C: y = a_1x^2 + a_2x + a_3$  上の点  $P(2, 4a_1 + 2a_2 + a_3)$  における接線を  $l$  とし、  $l$  と  $x$  軸との交点を  $Q(q, 0)$ 、  $l$  と  $y$  軸との交点を  $R(0, a_4)$  とする。  $a_1, a_2, a_3, a_4$  がこの順に等差数列であるとき、次の問いに答えよ。

- (1)  $a_2, a_3, a_4$  を  $a_1$  を用いて表せ。
- (2)  $q$  の値を求めよ。
- (3) 放物線  $C$ 、接線  $l$ 、および  $y$  軸で囲まれた部分の面積を  $S$  とする。  $S = q$  となるとき、  $a_1$  を求めよ。

3 四面体  $OABC$  において、  $\triangle OAB$  の重心を  $F$ 、  $\triangle OAC$  の重心を  $G$  とする。次の問いに答えよ。

- (1)  $\vec{OF}$  を  $\vec{OA}, \vec{OB}$  を用いて表せ。
- (2)  $\vec{FG} // \vec{BC}$  であることを示せ。
- (3)  $OB = OC = 1, \angle BOC = 90^\circ$  のとき、  $FG$  の長さを求めよ。

4  $\alpha > 1$  とする。数列  $\{a_n\}$  を

$$a_1 = \alpha, \quad a_{n+1} = \sqrt{\frac{2a_n}{a_n + 1}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

によって定める。次の不等式が成り立つことを証明せよ。

- (1)  $a_n > 1 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$
- (2)  $\sqrt{x} - 1 \leq \frac{1}{2}(x - 1) \quad (\text{ただし, } x > 1 \text{ とする。})$
- (3)  $a_n - 1 \leq \left(\frac{1}{4}\right)^{n-1} (\alpha - 1) \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$

5 正六角形の頂点を反時計回りに  $P_1, P_2, P_3, P_4, P_5, P_6$  とする. 1個のさいころを2回投げて, 出た目を順に  $j, k$  とする. 次の問いに答えよ.

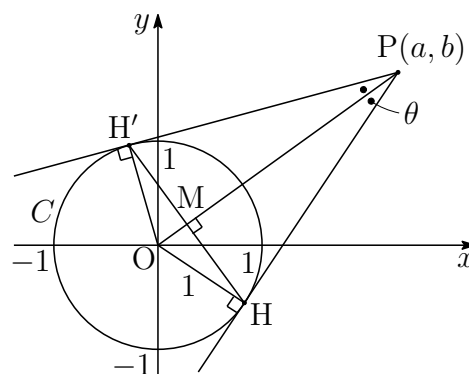
- (1)  $P_1, P_j, P_k$  が異なる3点となる確率を求めよ.
- (2)  $P_1, P_j, P_k$  が正三角形の3頂点となる確率を求めよ.
- (3)  $P_1, P_j, P_k$  が直角三角形の3頂点となる確率を求めよ.

解答例

1 (1)  $OP = \sqrt{a^2 + b^2}$ ,  $OH = 1$  より

$$\begin{aligned} PH &= \sqrt{OP^2 - OH^2} \\ &= \sqrt{a^2 + b^2 - 1} \end{aligned}$$

また  $\sin \theta = \frac{OH}{OP} = \frac{1}{\sqrt{a^2 + b^2}}$



(2) 線分  $HH'$  の中点を  $M$  とすると, (1) の結果を利用して

$$HM = PH \sin \theta = \sqrt{a^2 + b^2 - 1} \cdot \frac{1}{\sqrt{a^2 + b^2}} = \frac{\sqrt{a^2 + b^2 - 1}}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

したがって  $HH' = 2HM = \frac{2\sqrt{a^2 + b^2 - 1}}{\sqrt{a^2 + b^2}}$

$HH' = OP$  のとき,  $HH'^2 - OP^2 = 0$  より

$$\frac{4(a^2 + b^2 - 1)}{a^2 + b^2} - (a^2 + b^2) = 0$$

ゆえに  $(a^2 + b^2)^2 - 4(a^2 + b^2) + 4 = 0$

$$(a^2 + b^2 - 2)^2 = 0$$

$$a^2 + b^2 = 2$$

よって, 点  $P(a, b)$  の描く軌跡は, 原点を中心とする半径  $\sqrt{2}$  の円.

補足 直線  $HH'$  は, 点  $P(a, b)$  を極とする極線<sup>1</sup>であるから, その方程式は

$$ax + by = 1$$

原点  $O$  から極線  $HH'$  までの距離  $d$  は

$$d = \frac{1}{\sqrt{a^2 + b^2}}$$

したがって  $HH' = 2\sqrt{1^2 - d^2} = \frac{2\sqrt{a^2 + b^2 - 1}}{\sqrt{a^2 + b^2}}$  ■

<sup>1</sup> <http://kumamoto.s12.xrea.com/kyusuu/nagasaki/nagasaki.2012.pdf> [7] 参照.

- 2 (1)  $y = a_1x^2 + a_2x + a_3$  より  $y' = 2a_1x + a_2$   
 $x = 2$  のとき,  $y' = 4a_1 + a_2$  より, 点  $P(2, 4a_1 + 2a_2 + a_3)$  における接線は

$$y - (4a_1 + 2a_2 + a_3) = (4a_1 + a_2)(x - 2)$$

したがって,  $\ell$  の方程式は  $y = (4a_1 + a_2)x - 4a_1 + a_3$

また,  $\ell$  は, 2点  $Q(q, 0)$ ,  $R(0, a_4)$  を通るから, その方程式は

$$\frac{x}{q} + \frac{y}{a_4} = 1 \quad \text{ゆえに} \quad y = -\frac{a_4}{q}x + a_4$$

これらの直線の方程式は一致するから

$$(*) \begin{cases} 4a_1 + a_2 = -\frac{a_4}{q} \\ -4a_1 + a_3 = a_4 \end{cases}$$

(\*) の第 2 式から  $a_4 - a_3 = -4a_1$

数列  $a_1, a_2, a_3, a_4$  は等差数列であるから, 公差を  $d$  とすると  $d = -4a_1$

したがって  $a_2 = a_1 + d = a_1 + (-4a_1) = -3a_1$

$$a_3 = a_1 + 2d = a_1 + 2(-4a_1) = -7a_1$$

$$a_4 = a_1 + 3d = a_1 + 3(-4a_1) = -11a_1$$

- (2) (\*) の第 1 式から  $q = -\frac{a_4}{4a_1 + a_2}$

これに (1) の結果を代入して  $q = -\frac{-11a_1}{4a_1 + (-3a_1)} = 11$

- (3) (1) の結果から

$$C: y = a_1x^2 - 3a_1x - 7a_1$$

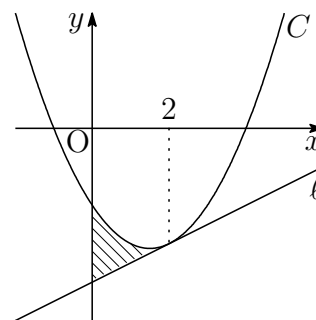
$a_4 = -11a_1$ ,  $q = 11$  から

$$\ell: y = a_1x - 11a_1$$

$a > 0$  であるから

$$\begin{aligned} S &= \int_0^2 \{(a_1x^2 - 3a_1x - 7a_1) - (a_1x - 11a_1)\} dx \\ &= a_1 \int_0^2 (x-2)^2 dx = a_1 \left[ \frac{1}{3}(x-2)^3 \right]_0^2 = \frac{8}{3}a_1 \end{aligned}$$

$$S = q \text{ より } \frac{8}{3}a_1 = 11 \quad \text{これを解いて} \quad a_1 = \frac{33}{8}$$



■

**3** (1)  $\vec{OF} = \frac{1}{3}(\vec{OA} + \vec{OB})$

(2)  $\vec{OG} = \frac{1}{3}(\vec{OA} + \vec{OC})$  であるから, これと (1) の結果から

$$\begin{aligned}\vec{FG} &= \vec{OG} - \vec{OF} = \frac{1}{3}(\vec{OA} + \vec{OC}) - \frac{1}{3}(\vec{OA} + \vec{OB}) \\ &= \frac{1}{3}(\vec{OC} - \vec{OB}) = \frac{1}{3}\vec{BC} \quad \text{よって } \vec{FG} // \vec{BC}\end{aligned}$$

(3)  $\angle BOC = 90^\circ$  より  $BC = \sqrt{OB^2 + OC^2} = \sqrt{1^2 + 1^2} = \sqrt{2}$

よって, (2) の結果から  $FG = \frac{1}{3}BC = \frac{\sqrt{2}}{3}$  ■

**4** (1) 漸化式

$$a_1 = \alpha > 1, \quad a_{n+1} = \sqrt{\frac{2a_n}{a_n + 1}} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

より,  $a_n > 0$ . また, 上式から  $a_{n+1}^2 - 1 = \frac{2a_n}{a_n + 1} - 1$

$$\text{ゆえに} \quad a_{n+1} - 1 = \frac{1}{(a_n + 1)(a_{n+1} + 1)}(a_n - 1) \quad \dots (*)$$

したがって  $a_n - 1 > 0$  のとき  $a_{n+1} - 1 > 0$

$a_1 - 1 > 0$  であるから, すべての自然数  $n$  について

$$a_n - 1 > 0 \quad \text{すなわち} \quad a_n > 1$$

(2)  $\frac{1}{2}(x-1) - (\sqrt{x}-1) = \frac{1}{2}(x-2\sqrt{x}+1) = \frac{1}{2}(\sqrt{x}-1)^2 \geq 0$

よって  $\sqrt{x}-1 \leq \frac{1}{2}(x-1)$

(3) 漸化式および (2) の結果から

$$a_{n+1} - 1 = \sqrt{\frac{2a_n}{a_n + 1}} - 1 \leq \frac{1}{2} \left( \frac{2a_n}{a_n + 1} - 1 \right) = \frac{1}{2(a_n + 1)}(a_n - 1)$$

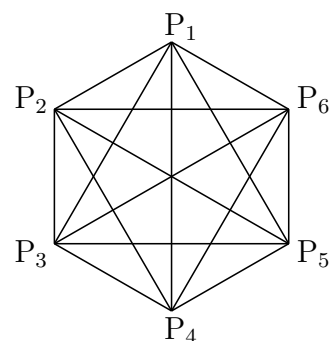
(1) の結果から  $\frac{1}{2(a_n + 1)} \leq \frac{1}{4}$  ゆえに  $a_{n+1} - 1 \leq \frac{1}{4}(a_n - 1)$

よって  $a_n - 1 \leq \left(\frac{1}{4}\right)^{n-1} (a_1 - 1) = \left(\frac{1}{4}\right)^{n-1} (\alpha - 1)$

別解  $a_n > 1$  から  $\frac{1}{(a_n + 1)(a_{n+1} + 1)} \leq \frac{1}{4}$  (\*) より  $a_{n+1} - 1 \leq \frac{1}{4}(a_n - 1)$  ■

- 5 (1)  $P_1, P_j, P_k$  が異なる3点となる場合の数, すなわち,  $(j, k)$  の組の総数は, 2, 3, 4, 5, 6 の5個から2個取り出して並べる順列の総数である. よって, 求める確率は

$$\frac{{}_5P_2}{6^2} = \frac{5 \cdot 4}{36} = \frac{5}{9}$$



- (2)  $\triangle P_1P_jP_k$  が正三角形となるのは, 次の2組である.

$$(j, k) = (3, 5), (5, 3)$$

よって, 求める確率は  $\frac{2}{6^2} = \frac{1}{18}$

- (3) 正六角形の頂点は同一円周上の点であるから,  $\triangle P_1P_jP_k$  が直角三角形となるとき,  $P_1P_4, P_2P_5, P_3P_6$  を辺にもつ場合で, それぞれの三角形の個数は, 4, 1, 1である.

よって, 求める確率は  $\frac{(4+1+1) \times 2}{6^2} = \frac{1}{3}$  ■